

××

車輪の下から

××

中学校などで講演をする機会を頂いた時には、質疑応答の時間を多めに取るようにしています。それは、話をした内容をどれくらい皆さんが理解したかを確かめられる時間であり、伝えたいことを上手く伝えたいかを自己評価出来る時間でもあります。

子供たちは、次々に手を上げて質問してくれます。うまく答えようとは思っていません。その子にあった答えをお話します。またその子を通して周囲の子にも伝わるようにお話します。随分前の講話を聴きなおすと、とても稚拙で自分がかっかりします。

ある時、那須中央中学校で講話をさせて頂き校長室で、休憩をとっていたところ、二人の女子中学生が、ドアをノックしてくれました。みんなの前では聞けない内容でしたので、一人ずつ質問を聞いて答えました。夢を追いかけることの大切さと現実にする方法として計

き取り、多くの先輩に会いに行き、異業種の方々と交流し徐々に、正しい生き方とは、というところまで近づきました。そうしている間も必死で働き1億円あった借入金も返済できました。そうすると素晴らしい仲間が出来、良いお客様や良いスタッフが集まるようになりました。金融機関にも信頼され、新しい店を建てましょうと現在の地を提案され、また2億円の借入を起こして15年で返済を終えました。

いま振り返ると多くの方に迷惑をかけたなあという反省と、これからは周囲の人たちを幸せにさせてもらいながら、生きていこうと思っっています。過去を振り返ると恥ずかしいことはいっぱいですが、でもそれらを糧に今を大切に、いけばよいのではないのでしょうか。

どんな職業が成功するのかという質問があれば、こう答えます。職業ではなく、付いた職業を好きになる努力を絶えずすること、その仕事を通して周囲や社会を明るく照らすこと。そしていつも笑っている事。自分の母親は49歳で亡くなりました。自分が14歳の時でした。母の印象は、学校から帰ってくる自分と弟

画表の書き方と、奨学金の取り方(お金の話)などを伝えさせていただきました。二人共に、親の苦勞を知っていて非常に健気な女の子です、夢に向かう気持ちが折れそうという子に、パツと笑顔が戻ってきて、握手してくださいと言うその子たちの手の温かさに、こちらが励まされたようでした。自分の中学生時代を思い出し、ふつと涙が滲んでしまいました。自分もあの頃、今の俺に会いたかったなあ、会えたら思い切り抱きしめたいと感傷的になってしまいました。

ヘルマンヘッセの「車輪の下」にも似た環境で、どうしようもなくもがいていた中学生時代。あれから働いて働いて、ここまで来ましたが、事業が傾きそうになったり、15人いたスタッフが一人になってしまったり、離婚も経験し、全て自分の能力の無さと知識の無さからの経験でした。自分の弱さを知りました。

そうだ、今からでも遅くはないと40歳で学び始めました。毎月10冊以上の本を読み、大事なことは書

を、外で歌を唄いながら待っている人でした。そしていつも笑顔でした。母がこれでもかという地獄の苦しみと体験をしたことを知ったのは、自分が随分大人になってからのことでした。ああ母に比べれば自分の苦勞などどれほどであろうか、車輪の下からでも必死に働けばこんなにちが来ると思い生きてます。話をしないで、皆さんの周りにもそういう方がきっといますよ。今日、父や母や祖父母に、若い時の話をせがんでみて下さい。

あなたの通う理容室や美容室の先生も、たくさんの経験を積んで修行しておりますよ。ちよつとだけ聞いてみて下さい。

I'm glad to talk to you

(文 五番街代表 大倉太喜生)



▲訪問カット号



▲スタッフ集合写真

hair design 五番街
TEL.0287-36-6811
那須塩原市太夫塚
6-232-213